

# 破天荒

教宣部

5062号

2019年  
6月 5日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合



## 2019 夏季一時金 3カ月を要求!

先日は夏季一時金の統一要求日でした。賃上げもない中、生活実感に基いたアンケートを実施し三カ月を要求しました。回答指定日は六月十三日で支給予定日は七月五日です。

### 過去の積み重ね

組合結成から四五年、会社は「余程の事が無い限り実績月数は確保する。余程のこととは二期三期連続で赤字になるような状態だ」という表明をし、それを理由に儲かっても月数回答が上がるらない時期がありました。それはそれで従業員にとっては次の一時金でいくらかもらえらるという予想がたち生活設計がし易い安定し

た一時金と呼べるものでした。三十年ほど前からは、現在の派遣も含めた一人当たり月経常利益からの計算による一発回答方式に変化し、概ねそのように推移しています。夏でいえば上は

### 勤務評価

二・八一カ月から下は一・二五カ月までジェットコースターのような生活を強いられています。従業員の頑張りというよりは経営者の判断・世間動向に左右され続けています。

結果は支給明細にのみ反映されるといやり方に対して組合は査定の導入に反対の立場をとっています。

### 大切なことは

相手を理解しようとして交渉すること、あるべき論ではなく、「ありたい論」を説き出し協力を求めることだと思えます。明るく働き易い職場、笑顔の溢れる職場になつたらいいなあ。今の雰囲気は会長のあるべき論だけでなく、俺さまのべき論まで飛び出して…何か変ですこの会社。

### 『お客様あつての竹中』

よく上司の方が「ごはん食べれるのもお客様があつてこそ」と言われていることがありますが。その言葉の意味は全ての従業員は理解していると思います。(たぶん)ですが上長から具体的にお客様に対して顧客満足度を上げるための教育も指示も何もなく、ただただ精神論ばかり…。

お客様を無視して、出世ばかり考え、上ばかり見て付度している方に、「お客様をあつてこそ」と言われても説得力はゼロです。まずは部下に対して実践して、手本を見せて、教育して行くのが管理職の役割と考えます。

【管理職に求められる主な能力】

- ・部長・次長
- ・ビジョン・政策立案力、戦略的思考、リーダーシップ
- ・課長
- ・部下の管理・育成能力、リーダーシップ、問題形成・解決能力

果たしてこのような能力有した管理職の方は弊社にいますでしょうか？



お知らせ

回答指定日団交

6月13日(木)

## 名 言 (二大創始者の言葉)

本田宗一郎氏

『独創的な新製品をつくるヒントを得ようとしたら、市場調査の効力はゼロとなる。大衆の知恵は決して創意などはもっていないのである。大衆は作家ではなく、批評家なのである。』

批評家＝批評することを職業とする人。また、他人の

言動を批評するばかりで自分では何もしない人をあざけっている。

松下幸之助氏

『アイデアを生むと言っても、口先だけでは生まれない。これもやはり熱心であること。寝てもさめても一事に没頭するほどの熱心さから、思いもかけぬ、よき

知恵が授かる。』

『それは私の責任です』と、責任者たりうる。』

さて会社で回りを見渡せば批評家ぞろいであり、「それは私の責任です」と言う責任者もいない会社になっていませんか？